

かけ橋

特別支援教育研修会「こみっと」

第1回、第2回をオンラインで実施し、本校の教育専門監が講話を行いました。

第1回「特別支援学級の運営について」(5月28日)

各学部の学習や学校見学、教育相談の説明をした後、特別支援学級への訪問等の際に受けた質問に答える形で、各教科等を合わせた指導や自立活動について解説しました。

講話後の質疑応答では、今後予定されている宿泊学習や修学旅行の事前学習で扱う指導内容や配慮点について複数質問があり、次のように要点を確認しました。

- 本人や保護者から、心配なことやがんばりたいことの間取り取りを丁寧に行い、学習の目標や必要な支援内容等を共有する。
- 実際の体験を取り入れた事前学習を行うことができるとうい(本校では、事前に利用機関の見学や寄宿舎を利用した入浴体験などを行っている)。

特別支援学級のQ&A

各教科等を合わせた指導とは？

各教科等
(国語・算数・理科・社会・理科・図工・美術・音楽・保健体育・職業家庭・特別の教科・道徳・特別活動・外国語活動)自立活動

遊びの指導
日常生活の指導
生活単元学習
作業学習

知的障害特別支援学校の各教科

知的障害がある場合、学習によって得た知識が断片的になりやすいので、各教科を合わせて、実際の・具体的な内容で効果的に指導することができる

知的障害がある児童生徒

注意！他の障害種の特別支援学級では、知的障害を併せ持っていないとできません

第2回「参加と学びを促すための手立て①」(7月2日)

始めに特性に応じた支援として、本校の実践を中心に紹介しました。その後、本校で実践している参加と学びを促す手立て「能代スタンダード」を用いながら、人的環境の配慮点について「不適切な行動には注目しない」「適切な行動に注目する」などのポイントを解説しました。

行動の分類の仕方

- 
【増やしたい行動】→誉める
 ・(例)元気にあいさつする
- 
【減らしたい行動】→無視する
 ・(例)あいさつの時に、「おす」と言う
- 
【絶対に許せない行動】→止める
 ・あいさつしながら、友達をたたこうとする。



第3回は8月4日(能代支援学校)、第4回は12月16日(オンライン)での開催を予定しています。追加の申し込みも受け付けておりますので、希望の方は能代支援学校地域支援部までご連絡下さい。

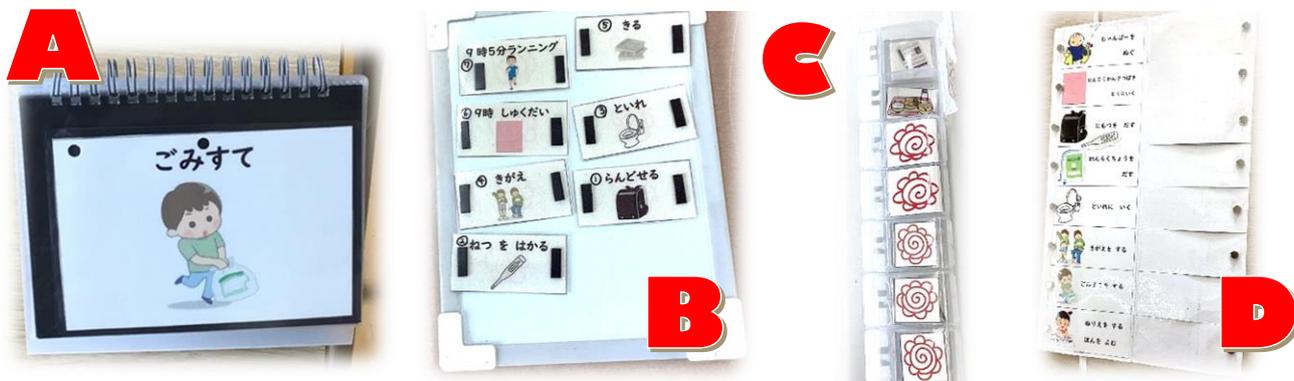
教材・教具紹介

本校で活用している活動の流れが分かる教材・教具を紹介します。

すべて、朝の活動を示した教材・教具です。一人一人に合わせて使いやすいものを準備しています。

A:めくり式:今やることが分かりやすいもの

B~D 一覧式:終わりが分かりやすい、終わったら消していく(見えなくなる)ようにしているもの



A:終わったらめくると次の活動が出てくる B:終わったらひっくり返す C:終わったらピルケースの蓋を閉じる(パチンと音がする)
D:終わったら、右側の部分を折る 3回目こみとで、実際に作成する予定です!

教育専門監コラム



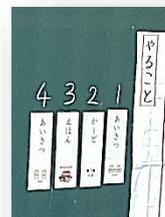
見通しをもたせることの大切さと効果

知的障害や発達障害等の支援の一つに、「見通しをもたせること」と紹介されることが多いと思います。「見通し」とは、物事の将来の状況を予測し、それに応じて行動を計画することであり、これがあることで、「安心感や計画性」「主体的な行動」につながるなどメリットがたくさんあります。果たしてこれは、障害がある子どもだけに必要なものでしょうか。

障害理解授業などで、小・中学校で授業した際、今日の講話の流れを伝え、最後に感想発表がありますと伝えておくことで、子どもたちは何を最後に言おうか、考えながら授業に参加してくれます。その姿を見たときに、どんな子どもでも、見通しを持つことは、とても大切なのだと感じました。

授業の流れなどを視覚的に伝えることで、特別な支援が必要な子どもにも分かりやすい授業となります。本校では、授業の流れを示したり、同じ流れで授業したりするなど、見通しがもてるよう工夫しています。さらに、時間や日にち、週や年間予定など、大きな枠組も分かることで、より分かりやすい学校生活となることと思います。

安全・安心な学級経営の一つに、「見通し」を加えてみてはいかがでしょうか。



特別支援教育に関わる情報提供や相談等、お気軽にお問合せください。

教頭: 佐藤 香代子 ・ 小玉 慎也

教育専門監: 館山 奈穂子 地域支援部主任: 堀江 奈美子



TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681

ホームページ <https://noshiroshien.ed.jp>

E-mail noshiro-s@akita-pref.ed.jp